

項目	内容
名称	キダチアロエ [英]Kidachi Aloe [学名]Aloe arborescens Mill.
概要	キダチアロエは、多肉植物のアロエ類のひとつであり、南米アフリカ (ケープ、トランスバール地方) を原産とする。江戸時代に渡来し、観賞用、薬用として「医者いらず」といわれ親しまれてきた。キダチは木立を意味し、鋭いトゲのある葉を伸ばしながら高くなる。
法規・制度	<b>■食薬区分</b> ・葉：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。 <b>■食品添加物</b> ・天然香料基原物質リスト キダチアロエが記載されている。
成分の特性・品質	
主な成分・性質	
分析法	・品質の指標として、barbaloinをUV検出器 (293 nm) 付HPLC により分析した報告がある ( <a href="#">PMID:4019374</a> ) 。 ・aloinin、barbaloinおよびisobarbaloinをmicellar electrokinetic chromatographyにより同時分析した報告がある ( <a href="#">PMID:11254203</a> ) 。 ・アロエドリンク中のbarbaloinおよびaloe-emodinをLC/MSにより分析した報告がある ( <a href="#">PMID:12238148</a> ) 。

## 有効性

循環器・呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。

ヒトでの評価

参考文献

- (29) 牧野和漢薬草大図鑑 北隆館
- (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添2、別添3、一部改正について)
- (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第1版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳  
[\(PMID:4019374\) Assoc Off Anal Chem. 1985 May-Jun;68\(3\):493-4.](#)  
[\(PMID:11254203\) J Chromatogr B Biomed Sci Appl. 2001 Mar 5;752\(1\):91-7.](#)  
[\(PMID:12238148\) 食品衛生学雑誌. 2002 Jun;43\(3\):122-6.](#)
- (1984190692) 皮膚病診療. 1984;6(5):403-6.
- (1988016469) 西日本皮膚科. 1987;49(2):236-41.
- (2005128063) 臨床薬理. 2004;35(2):105-10.
- (1988138905) 皮膚. 1987;29(2):209-12.
- (2006274130) 小児科臨床. 2006;59(6):1081-7.  
[\(PMID:20191055\) J Korean Med Sci. 2010 Mar;25\(3\):492-5.](#)
- (1994189873) 医薬の門. 1994;34(2):142-6.
- (23) 天然食品・薬品・化粧品の記事典 朝倉書店 小林彰夫ら 監訳  
[\(PMID:14507246\) Asian Pac J Cancer Prev. 2003 Jul-Sep;4\(3\):247-51.](#)
- (91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS)  
[\(PMID:7094571\) Contact Dermatitis 1982 8\(3\) 164-7.](#)